
私の大切なもの...

マッコリ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

私の大切なもの…

【Nコード】

N3768Y

【作者名】

マツコリ

【あらすじ】

ギルド、家族、お金、仲間、世界、命、物
どれが一番大切なのか―

私の大切なもの…（前書き）

恋愛ものじゃないです

私の大切なもの…

ギルド、家族、お金、仲間、世界、命、物など、
この中で一番大切なもの…

どれだろう…どれも当てはまる…

この世に一番大切な物など、存在するの…？

ここは…。何処？

森の中か…。

何か出てきそう…

まあ、良いや…

私には関係がないもんね…

このまま、誰にも助けられないまま死ぬんだ…

良いや…このまま…

サヨウナラ…私…

サヨウナラ…この世…

私はそっと目を閉じた…

死ぬつもりで…

「誰か倒れてる!!」

「えっ!？」

「本当だわ…」

「とりあえず運ぼう」

「運ぶって言っても…」

「どこに？」

「ギルドだ」

「うん!!」

「それしかないわ」

「ああ!!」

私は…ギルドへ連れ込まれた

ここから私の記憶が、新たに刻まれるー。

彼女の正体（前書き）

彼女は何者！？

彼女の正体

「ここはー」

「気がついたか？」

「はい……」

「なあ……何であんなここにいたんだ？」

「えっ？あっ……それは……えっと……」

「ねえ、名前は？」

「なんていうの？」

「えっと……あの……」

「待て！！そんなに質問したら、困まるだろうー！！」

「あっ……ごめんね……」

「スマネエ……」

「悪リイ……」

「すまん……私は、エルザ？スカーレットだ、よろしくな」

「あっはい。よろしくお願いします」

「あたし、ルーシー!!よろしくね!!」

「よろしく願います!!」

「あい!!オイラ、ハッピーよろしくね!!」

「よろしく願います」

「おれはグレイだ。よろしくな!!」

「はい。よろしく願います。」

「私、ユキ。よろしくね!!」

「よろしく願います」

「オレはナツだ!!火竜のナツ!!」

「よろしく願います」

ルーシー「ねえ、名前なんていうの?」

「わ…私ですか!?!私は…サキっていいます。よろしく願います」

「サキ?下の名前は?」

エルザ「!マスター!!」

マスター「サキ。下の名前を覚えてくれんかのう…」

サキ「えっ！あっ！は…はい。サキ？トゥルーズです」

マスター「トゥルーズ！？サキ、本当にトゥルーズなのじゃな！？」

サキ「はい…そうですけど…」

ナツ「じつちゃん！！サキになんかあんのか！？」

マスター「違う…サキはな…」

ルーシー「？サキは…？」

マスター「サキはな…何百年も前に姿を消した人じゃ…」

トウルーズ

ルーシィ「！？何百年も前って…」

マスター「トウルーズ家は、何百年も前にいた1族じゃ…サキはその中の1人じゃ…」

エルザ「じゃあ…サキは…何百歳という訳ですか！？」

マスター「そうじゃ…」

ナツ「サキ。お前、いくつだ？」

サキ「すみません…私、年齢不明でして…」

グレイ「そうか…」

ナツ「…サキ…このギルド、好きか？」

サキ「えっ…はい。好きです」

ナツ「じつちゃん…サキをこのギルドに入れよう…」

ユキ「ナツ…」

ルーシィ「…あたしも！！そう思う！！」

エルザ「私もそう思います！！マスター」

キャラクター紹介

名前 ユキ?マーナ

性別 女

年齢 14歳

魔法 草の魔法

設定 髪はストレートで、瞳の色はこげ茶。髪の長さは、ルーシィよりちよつと長い。性格はいたって普通。何かありそうでない人。

名前 サキ?トゥルーズ

性別 女

年齢 何百歳

魔法 悪の魔法

設定 何百年前に姿を消したトゥルーズ家の唯一の生き残りである。髪色は、茶色。瞳の色は、真黒。そして、二重人格である朝?夕方の人格と、夕方?夜の人格がある。朝の人格は、おっとりしていて、夜の人格は、朝の人格とは違って、すぐくよくくしゃべる。ちなみに、夜の人格の時の瞳の色は、赤紫になる。髪型は普段はくくっていないが、夜になるとポニテになる。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3768y/>

私の大切なもの...

2011年12月5日23時45分発行